

令和2年6月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和2年6月23日(火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	15時00分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	石井希典	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	教育次長	岡林敏隆
次長(教育総務部長兼務)	赤野政治	学校教育部長	奥橋健介
生涯学習部長	小坂正樹	教育企画総務課長	小林芳由
教育企画総務課企画調整担当課長	植山智恵	教職員課長	島田和男
中央図書館長	宮本嘉彦	保健体育課課長	力竹孝典
指導課教育支援担当課長	渡邊裕一	岡山っ子育成局子育て支援部 地域子育て支援課課長補佐	黒瀬格
事務局 (教育企画総務課課長補佐)	井本浩行	事務局 (教育企画総務課主事)	友次紗都美
5 議題及び結果			
報告第19号	専決処理の報告(市議会の議決を経るべき議案の原案への同意について)		承認
6 教育長等の報告 [令和2年5月9日(土)～令和2年6月12日(金)]			
5/24	めだかの学校環境まつり(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)		生涯学習課
5/27	教育長学校訪問		教育企画総務課
5/29	教育長学校訪問		教育企画総務課
6/1	教育長学校訪問		教育企画総務課
6/3	教育長学校訪問		教育企画総務課
6/5	新成人の集い第1回実行委員会		地域子育て支援課
石井委員	○ 5月後半に入って、本年度初めて教育長が学校訪問されたと思うが、新型コロナウイルスの状況もあって、学校も混乱している部分もあるかと思う。その部分もあれば、一部触れていただきながらお話しいただきたい。		
教育長	○ 学校が再開したのが5月21日で、早く学校のほうへ行きたいということで、立て続けに4校、小学校2校、中学校2校へ行ってきた。		

どの学校へ行っても思ったのは、コロナ対策をしっかり頑張っているなどということである。手洗いをしっかりやっており、マスクは9割は着けているが、中には忘れた子どももいるようであった。例えば大きな声で隣の子と話をしたりとか、いらない話をしたりとか、そういうこともあまりなく、対策が行き届いているということも思った。

総括して話をするが、教員がマスクを着けて指導をしているということに、とても違和感を持った。それで、フェイスシールドを着けたほうがいいのかという提案させてもらったのだが、やはり表情で教えるという部分も絶対要ると思うし、もちろん難聴学級であるとか、英語の授業とか、口元が見えないといけないものは当然フェイスシールドのほうが良いと思う。他の授業でも、やはり着けておいたほうが良いのではないかと思った。

本当は子どもも口元が見えるほうが良いと思うが、これはなかなか人数分のフェイスシールドを手に入れるというのは難しいので、当然一朝一夕にはいかないと思うが、そういうことを見ていて感じたところである。

でも、本当に子どもたちが、学校に来てうれしそうであった。小学校も中学校もわくわくした様子でやっている。かといって羽目を外すとかではなく、秩序正しくやっている様子があった。

幡多小学校は、比較的大きな学校であるが、非常に落ちついた雰囲気でも頑張っていた。校長の思いとして、これはどこの小学校も実はそうであるが、若い教員が多いので、とにかく授業力を上げないといけないと、これが学力の向上にもつながるところということで、OJTにもものすごく力を入れていた。主任教員の役割をしっかり話をするなどして、学年団で人を育てていくという、そういう思いを持っていた。

生徒指導的には、完全不登校になっている子はいないが、傾向を持っている子はいるので、早期発見、早期対応に心がけているということであった。それから、特別支援教育の通級指導教室の取組をしている。現在の指導課の教育支援担当課長が教頭のときに始めたのだが、通級指導教室はとてもよいということである。校内で通級指導教室を持っているから、そういうものはとてもいいなということも言っていた。それが幡多小学校の特徴でもあるし、非常に機能しているなどということも思った。

それから、幡多小学校もそうであったが、三勲小学校もエアコンがついているのがとてもいいということで、施設面のことを非常に言っていた。ここは高学年で教科担任制が少しであるが、一部やっている。教材研究がしっかりできるので、かなり機能しているのではないかと思った。

それから、学力向上のためには、その教科担任制もあるが、書くということを中心にやる、要は書くという表現で学力をつけていこうということでも取り組んでいるということであった。

ここは中学校区としては今、操山中学校区は非常に協力的で、宇野小学校と三勲小学校、それから中学校の協力体制ができているということである。

幡多小学校も三勲小学校も、コロナウイルスの影響による出席停止や、登校が不安だという子は少なかったようである。

次に岡輝中学校であるが、校舎が新しくなっているが、やや生活が崩れている子が多いというようなことを聞いていたが、靴もきちんとそろっているし、汚れているところもないし、全然そんな不安ということはない。

岡輝中学校の校長が言われていたのは、不登校が多いということであった。中学校へ来てから不登校になるという子は転校生にはいるが、小学校から普通の校区、学区で上がってきた子どもにはいないと。その小学校から上がってきて不登校になっている子は、小学校のときに転校してきている子であるというような話をされていた。

それから、最後に石井中学校であるが、びっくりするぐらい靴がよくそろっているし、全体的に非常にきれいであった。特別支援の研究もしているが、いわゆ

	<p>る共同学習をしっかりとやっているということであった。そして、誰ひとり見捨てないという、そういう考えでやっている。ここは石井、三門、大野と3つの小学校から入学して来るが、最初はなれずに、何かとんがった雰囲気であるが、だんだん学年が上がるにつれて温かい雰囲気になっている。これは昨年行った福田中学校に似ていて、やはり共同学習の成果かなというふうに思っている。</p> <p>それから、働き方改革では計画年次休暇ということで、しっかりとるようにやっている。校長先生が特徴的なことを話されていたが、教員同士が非常にいい人間関係であれば、生徒指導もできると、必要なくなるんだという信念のもと、教員が手本になって子どもたちの前で接するから、非常にいい雰囲気であるという話をされていた。</p> <p>今、中学校は、3年生が1階で2年生が2階、1年生が3階以上だというような、そういう学校が多いようである。これもとてもよく機能しているという話をされていた。</p>
石井委員	<p>○ コロナの影響で休校中に教育委員会の事務局の方々もいろいろな対応をされて、それから学校でもいろんな準備やケアも含めてしていただいて、再開にこぎつけて、何とか慎重にここまで来ているというのは、皆様のご尽力のおかげだというふうに感じている。また、かなりつぶさに教育長が直接ご確認していただきながら進めていってくださっているということで、それが各学校にも伝わって進められていくのではないかなというふうに感じている。</p>
片山委員	<p>○ ICTに関して、これからパソコンがどんどん入ってくるということで、棚の整備とか、そういったハード面を含めて、あとは先生方の活用に向けてのいわゆるスキルアップということがいろいろ課題になるかと思うが、そのあたりで、教育長がお聞きになられた現場の声や、あと今後の課題といったようなことがあれば教えていただければと思う。</p>
教育長	<p>○ 私の感想としては、現場はまだまだ全然意識が醸成できていない。まだ機器も入っていないし、棚も入っていないし、まだまだこれからだな。どの学校でも言われたのが、仮に家庭にそれを持って帰ることができるということになったとしても、家庭のネット環境がまだまだ不十分らしいと。オンライン授業ということの話になると、非常に厳しいだろうなというのを校長は言っておられた。</p> <p>ただ、今回市のほうで予算をつけて、いわゆるネットから教材を見ることができなのが、35%ぐらいであったと。この35%をどうとるかであるが、こちらとしては35%も取り組んでもらったということはよかったのかなというふうに思っているところである。いろいろスキルアップしていこうとしているが、まだまだである。</p>
片山委員	<p>○ 大変な状況で、これから課題がたくさん出ると思う。休校の間のネット教材も少し情報をいただいて、娘が取り組んだ中で、とても親としてありがたいなと思ったのが、先生たちから子どもがアクセスした状況が見えるということ子どもが聞いてきて、それが子どもにとって、オンラインではあるが、先生とつながっているという意味で、自分がやったことを先生が見てくださるというのが、すごく支えになるというか、力になるというか、意欲になるというか。だから、そういう意味で、オンラインの中でも先生と子どもとつながる形での導入というのをより進めていただけると、双方向的な学習にもつながると思う。そういったつながりとして、オフラインのよさがオンラインの中に生かされるよう、お願いできればありがたいと思った。</p>
河内委員	<p>○ 教育長が2日に1回ぐらいのペースで4校を回られて、時期的なことからして、今回、議会でも質問がいろいろ出ていたようだが、コロナの第2波の流行に向けて、学校サイドからの課題や要望、こうしてほしい、あるいはこういうふうに行っていこうと思っているというような、ずっとまた休校が続くかもしれないし、そこに向けての何か意見等はあったか。</p>
教育長	<p>○ 校長にそのことについて質問したら、遠慮がちに言われるのが、難しいでしょうけど、情報を早くくださいということであった。つまり、急に1週間先にこう</p>

<p>石井委員</p>	<p>なるとかいう、いろいろ出てくる情報や大きな変わり目の情報が間際にならないと出てこないから、非常に慌てていることが多かったという。だから、第2波、第3波が来ても、できるだけ早く情報をくださいと。</p> <p>先ほどの片山委員の話ではないが、オンラインの授業を早くとかということではなかった。我々としては何とか対応していかなければならないと思っている。</p> <p>あと、校長が言われた中で、安心して指導できる家庭と、そうではない家庭と両方あるので、これをしっかり、配慮しながら指導していきたいということ言われていた。</p>
<p>地域子育て支援課 課長補佐</p>	<p>○ 新成人の集いの来年に向けた準備ということでスタートしていると思うが、コロナウイルスの影響を鑑みた準備のあり方というのは、どういうふうにあるのかを教えていただけたらと思う。</p> <p>○ 6月5日に第1回の実行委員会があり、8人の実行委員が参加してスタートを切った。ただ、委員がご指摘のとおり、コロナウイルスの影響があるので、会場については、今のところ未定ということで、実行委員の募集に際しては、広報では例年どおり岡山ドームで開催ということで案内はしたが、岡山ドームで通常どおりの開催が難しいことも十分考えられるので、担当課としては、今のところ岡山ドームと、シティライトスタジアム、こちらのほうも候補としている。イベントとして5,000人規模の来場者があるので、保健所長の指摘も受けて、岡山ドームの場合は、やはり屋根がついているということで、シティライトスタジアムよりは密な状態になるということである。</p> <p>それから、現状ではドームの中に2,000人、新成人が入って席に着くという状況になり、密にならないように十分席の間をあけた場合に、もう2,000人がぎりぎりいっぱいというような状態になっている。もし雨が降ったような場合になると、5,000人の来場は見込まれるので、2,000、3,000の新成人がドームの中になだれ込んでくるという状況になると、大変混乱もするし、3密が発生する。代替案のシティライトスタジアムについては、全体に観客、スタンドの中が1万人収容、屋根のついたホームスタンド側が4,000人収容ということで、従来どおり2,000人の人が式に入ってくると想定をして、1つ飛ばして間隔をあけたとして、2,000人の席の確保ができるということである。それから、雨が降った場合にも、シティライトスタジアムの場合には、スタジアム周辺にひさしのような形で雨を防げる場所も、避難できる場所もあるので、岡山ドームでするよりは、コロナ対策が比較的できている状況ではないかというように指摘も受けて、今、県と調整をしているところである。</p> <p>芝生の工事が、ちょうど正月あたりから入る予定になっているということで、その工事の計画、日程等が落札の関係で8月にならないと分からないということで、まだ使用しても構わないという許可はおいていないが、今検討を進めているところである。</p>
<p>石井委員</p>	<p>○ 状況が変わっていくのと合わせて、どのタイミングで何を決断しなければいけないのかということもあって、非常に難しいというか、かなり早目の決断というのも場合によってはいると思っているが、どのタイミングで何を設定するかスケジュールはまだ決まっていないのか。</p>
<p>地域子育て支援課 課長補佐</p>	<p>○ おっしゃるとおり、計画的に判断をどこでするというのが出れば一番よいが、正直なところ、感染の拡大の状況であるとか、第2波が発生するであろうことも想定をした上で、それが9月にどの規模で発生するのか、それが4か月後、大体4か月のサイクルで波が来るという保健所長の意見で、そのタイミングによってはできるだろうし、また、その波の山がずっと年明けにずれ込んでくるようであると、できないということで。</p> <p>8月から5,000人規模のイベントもオープンしたり、プロスポーツも観客を入れたりという話もあるが、そういうところに合わせて、プロの興業とか、ちょうど同日にはVリーグの試合が体育館のほうでは予定されているが、こちらの試合が観客を入れないのに、成人式のほうは5,000人入っているというよう</p>

石井委員	<p>な状況は考えられないということで、なかなか何月の時点で発表するとかということは決めかねているのだが、いろいろ柔軟に対応ができるようにしたいと思っている。</p> <p>○ 早目に決断することも大事な部分であろうし、一方で、一生に一度の成人式というものもあって、相反する部分があると思うが、可能な限り、選択肢をとりながら、決断を早目に決めていただく必要もあるのかなというふうに感じた。</p>
7 議事の概要	
<p>教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>全委員 教育長</p> <p>教育企画総務課長</p>	<p>○ ただいまから6月岡山市教育委員会定例会を開催する。 傍聴希望者はおられない。 日程第1、会期についてであるが、本日1日限りとしてよろしいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 本日1日限りとする。 日程第2、こちらに5月の定例会の議事録があるので、ご覧いただいて署名をお願いする。 日程第3、事業報告をご覧になって、何か質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載) では、次に、議事に入る前に会議の公開、非公開についてお諮りをする。 日程第5の14号から17号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項であり、会議規則第7条第1項第2号に該当するため、非公開としたいと思うが、委員の皆さん、いかがか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ それでは、日程5の全ての議案は非公開とする。 それでは、最初に日程第4、報告第19号、補正予算のことであるが、教育企画総務課から報告をお願いする。</p> <p>○ 資料の1ページ、報告第19号、専決処理の報告についてをご覧いただきたい。 こちらは、令和2年度岡山市一般会計補正予算(第3号)案のうち、教育委員会分の教育費予算案への同意について、教育委員会に付議する時間的余裕がなかったため、6月9日に専決処理したものである。 今回の補正予算は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた学校教育活動等の実施のための人的、物的体制整備として計上したものである。 内容については、資料の2ページ、3ページ、令和2年度岡山市一般会計補正予算第3号についてをご覧いただきたい。 歳出第10款教育費のうち、教育委員会分補正前の額、506億8,929万円に対し、2億2,550万円を増額し、補正後の額が509億1,479万円となる。 第1項教育総務費、第5目事務局費の各事業は、いずれも夏季休業日を短縮して行う授業日に対応する職員の追加配置に係るものである。 まず、習熟度別サポート事業費の補正額450万円は、臨時休業による未指導部分の指導及び学習支援を行うため、習熟度別サポーターの追加配置を行うものである。 岡山っ子スタート・サポート事業費の補正額、660万円は、小学校1年生の生活指導や学習指導の支援を行うため、岡山っ子スタート・サポーターの追加配置を行うものである。 学校業務アシスト事業費の補正額、450万円は、教員が子どもと向き合える時間を確保できるよう、感染症対策で増加する教員の業務を補助するため、学校業務アシスト職員の追加配置を行うものである。 特別支援事業費の補正額、120万円は、医療的ケアが必要な児童・生徒に対して、教育活動の支援を行うため、看護支援員の追加配置を行うものである。 学校適応支援事業費の補正額、330万円は、不登校児童・生徒及びその傾向のある児童・生徒の支援を行うため、不登校児童・生徒支援員の追加配置を行うもの</p>

<p>教職員課長</p>	<p>である。</p> <p>第5項小学校費、第10項中学校費、第15項中高一貫校費の第1目学校管理費、学校運営経費のそれぞれの補正額、9,317万円、4,163万円、350万円は、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る備品購入のための予算を各学校に配付するものである。</p> <p>第25項社会教育費、第15目図書館費、図書館運営費の補正額1,000万円は、市立図書館に図書消毒機を設置するものである。</p> <p>第30項保健体育費、第1目保健体育総務費、学校保健事業費の補正額4,190万円は、校内での感染拡大防止のため、児童・生徒の健康診断に係る消毒液、医師用手袋及び便座クリーナーを各学校に配付するものである。</p> <p>第15目学校給食費、学校給食事業費の補正額1,520万円は、給食調理員の熱中症対策に係るクールジャケット等を配付するものである。</p> <p>引き続き4ページ以降の報告資料に沿って各担当からご説明する。</p> <p>○ 教職員課から続けて3つの事業についてご説明をする。</p> <p>資料4ページをご覧ください。</p> <p>事業名は習熟度サポート事業である。この事業は、1学級当たりの平均授業数が12未満の学校を除く小学校へ習熟度別サポーターを配置して、習熟度別の10人以下での少人数指導を行って基礎の定着や学習意欲向上などを図っていくものである。</p> <p>今回の補正内容としては、先ほどあったが、臨時休業により授業を行うことができなかった3週間分を夏季休業日を短縮して行う授業日に習熟度別サポーターを追加配置してきめ細やかな学習指導を行いたいと考えている。</p> <p>人材については、現在配置している方を最大限活用したいと考えている。</p> <p>歳出額については、450万。そのうち国の補助率は3分の1である。</p> <p>続いて5ページをご覧ください。</p> <p>事業名は岡山っ子スタート・サポート事業である。この事業は、小学校1年生で30人以上いる学級に岡山っ子スタート・サポーターを配置して円滑な義務教育のスタートが切れるよう学校生活をサポートするものである。</p> <p>この内容としては、夏季休業日を短縮して行う11日間に岡山っ子スタート・サポーターを配置するものである。</p> <p>人材については、習熟度サポート事業と同様で現在配置している方を最大限活用したいと考えている。</p> <p>歳出額は660万、国の補助率は3分の1である。</p> <p>続いて6ページをご覧ください。</p> <p>事業名は学校業務アシスト事業である。この事業は、学級数によって配当期間は異なるが、全校に学校業務アシスト職員を配置して、教員の事務処理等の業務軽減を図り、子どもと向き合う時間を確保するものである。</p> <p>今回の内容としては、延長する2週間分に学校業務アシスト職員を配置して教務の負担軽減を図りたいと考えている。</p> <p>人材の活用については同様である。</p> <p>歳出額は450万、うち3分の1は国の補助となっている。</p>
<p>教育支援担当課長</p>	<p>○ 7ページをご覧ください。</p> <p>特別支援教育支援員配置事業のうち、医療的ケアが必要な子どもに対して医療的ケアを含む教育活動の支援を行う支援員としての看護支援員を夏季休業日を短縮して行う11日間、勤務ができるように拡充するものである。</p> <p>人員については、今、勤務している者を充てていく予定である。</p> <p>歳出額は120万円、そのうちの3分の1が国の補助となっている。</p> <p>続いて8ページが不登校児童生徒支援員配置事業である。</p> <p>別室登校や登校時の付き添い等を行い、児童・生徒や保護者の支援を行うための人員であるが、これがもともと175日、または140日ということで、少ない時間での配置になっているので、この夏季休業を短縮して行う授業日の11日間が</p>

<p>教育企画総務課長</p>	<p>勤務できるようにということで、拡充して配置を行う。 人員は、先ほどと同じように、今、勤務している方を充てていくものである。 歳出額が330万円で、そのうちの3分の1が国の補助となる。</p> <p>○ 資料の9ページをご覧いただきたい。 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る事業についてご説明する。 本事業は、学校における新型コロナウイルス感染症対策等を図る事業である。 具体的な事業内容としては3つ挙げているが、1つ目は、各小学校、中学校、高等学校に設置されている洋式トイレ約3,500カ所に感染症予防対策として便座クリーナーを設置するものである。 2つ目は、夏季における学校給食実施に必要となる給食調理員の熱中症対策としてクールジャケット約750着の配付等を行うものである。 3つ目は、各学校の判断で消毒液や非接触型体温計など、感染症対策等のために必要なものを購入するための予算を学校に配付するものである。 歳出額の内訳は、便座クリーナーの設置が3,050万円、クールジャケットの配付等が1,520万円、学校への予算配当が1億3,830万円、総額1億8,400万円、国の補助率は2分の1である。 以上である。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>○ 10ページの市立図書館消毒機設置事業をご覧いただきたい。 事業の趣旨としては、新型コロナウイルス感染症により、不特定多数の方が来館する図書館の利用に不安をお持ちの方に安心して本を使っていただくため、市立図書館全10館に図書消毒機を設置しようとするもので、本の消毒を希望する利用者自身が消毒機を操作、使用することになる。 事業費としては、紫外線を利用した殺菌ランプと、抗菌消毒剤等の消耗品費と庁用器具費、本体で合わせて1,000万円となる。 11ページに消毒機の説明も載せてあるので、こちらもご覧いただきたい。</p>
<p>保健体育課長</p>	<p>○ 12ページをお開きいただきたい。 事業名は、学校健康診断時の新型コロナウイルス感染症対策事業として、学校の健康診断時に感染症対策として検診医用の手袋と器具の消毒液、それから児童・生徒用の手指消毒用のアルコールを各校に配付する事業である。 事業内容としては、1つは、1検診項目当たり61,000組。これは、普通の定期健康診断と、それから10月、11月にやる新入学の健康診断、この分で61,000組ということになっている。それが4科目分で965万。 そのほか、検診器具用の消毒液、それから手指消毒の消毒液を買うものである。 事業費としては、消耗品費として1,140万円で、全て一般財源ということになっている。</p>
<p>教育長 片山委員</p>	<p>○ 何か今の説明について、ご質問、ご意見があればお願いします。 ○ 最後の図書消毒機というのは、きっと不安な方にとってはありがたいものだと思うが、10館に設置されるということで、何機ずつ配備される予定なのかということをお伺いしたい。</p>
<p>中央図書館長 片山委員</p>	<p>○ 規模の大きな中央図書館と幸町図書館には2台、入れようと思っている。それから、あとの西大寺、浦安、瀬戸、規模の小さな8館には、1台ずつ導入しようと考えている。 ○ 入れてみないと分からないとは思いますが、それが必要台数なのか。もしそこで順番に並ぶ方が多くなると、かえってそこで密を起すことになる。あと公民館の中にたくさん図書館のような、市の図書館と連携したようなところがあると思うが、そういったところは、今後のニーズが高いようであれば、予算も要ることではあるが、必要な支援というか、感染対策とすれば、今後もそういうところにも広げられる予定があるのか、そういったところを少しお聞かせいただきたい。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>○ まず、ほかの図書館でもう既に入れているところに確認すると、赤磐市のデータであるが、1月から見て3倍ぐらい利用が増えたというふうにお聞きしているので、もし行列ができたときには、3密にならないような対策を講じたいと思ってい</p>

	<p>る。</p> <p>それと、もう一点、公民館の図書コーナーに本が置いてあるが、今回、市では公民館の図書コーナーに設置する予定はない。</p>
<p>石井委員</p> <p>教育支援担当課長</p>	<p>○ 学校が休校になっていたことの影響を受けて、サポート事業費やアシスト事業費というのを計上いただいているが、この3月から始まって、かなり長期間休んでいたことにより、学習の習熟度の影響がどれぐらいあるのか。また、今年度必要なことは習熟をしていかなければいけないということに対して、現時点でこの予算を執行することによって、その習熟度は例年並みに達するというような見込みなのか、あるいは、まだ足りなくて、さらに今後こういうことをやっていかないといけないという状況なのか、教えていただきたい。</p>
<p>石井委員</p> <p>教育支援担当課長</p>	<p>○ 今回の追加、補充して配置しているというものは、おっしゃられるとおり、本来であれば、休業がなければ、実際にそういったサポートを受ける、サポート事業をすることができる期間、実際にはその期間がなかったところを補充するものというふうに考えているので、それ以降については、年度当初に予定していた配置、配当要件があるので、そちらのほうでしっかり対応できるものとは考えている。今後、実情に応じて学校の実態というか、そのあたりのしっかりとした把握に努めて、何か課題が出てくるようであれば、当然またどういったことができるのかというのは考えていきたいとは思っている。ただ、今の段階では、2学期以降は予定しているサポートで対応できるのではないかなと考えている。</p>
<p>石井委員</p> <p>河内委員</p>	<p>○ それぞれ学校、いろいろな事情もあると思うが、岡山市はそれでも比較的短い期間の休校という部分はあると思うが、実態として、例年と比べてどういう数字が学習について出ているのかというのは、早目に収集していただいた中で、可能な限りできることは手を打っていただきたいと思うが、そういう仕組みというのは何かあるのか。習熟に関する各学校が例年と比べてどのくらいのギャップが生まれているのか、生まれていないのかということが収集できるような仕組みあるのか。</p> <p>○ 仕組みがあるかと言われれば、あるわけではないが、教職員課、それから指導課ともに学校に連絡をとる際にはいろいろ校長先生からお話を聞かせていただいて、そこで課題が出てきたときには、しっかり検討、情報共有しているというのは現状である。</p>
<p>石井委員</p> <p>河内委員</p> <p>教職員課長</p>	<p>○ 本当に大変だと思うが、そこをチェックというか、一緒になって見ていただきたいと思う。</p> <p>○ それぞれの授業によって制度が違うので、この拡充内容の積算基礎が違ってくるのは当然と思うが、習熟度別サポート事業は3週間、それから岡山っ子スタート・サポートとか、この11日というのは、夏季休業中に増える登校日の日数なのか。それから、学校業務アシストは2週間。それから、特別支援教育支援員のほうは、この医療的ケアの7人のみを増やすというふうなことで、それぞれがまちまちになっているが、これについては、どうしてこういう計算に、要求になったのかということを知る範囲で説明をお願いします。</p>
<p>教育支援担当課長</p>	<p>○ まず、習熟度別サポート事業についての3週間というのは、4月21日から臨時休業になり、その休校期間がゴールデン・ウィーク等を除くと大体3週間。つまり、3週間、本来であれば習熟度別授業が行えた期間ができなかったもので、その3週間分を夏季休業を短縮して行う、その期間に充てるものということで3週間である。</p> <p>それから、おっしゃられた11日というのは、その短縮した期間が11日分あるので、1日5時間の岡山っ子スタートサポート事業であれば、5時間のものを11日分という、そういう形で予算計上しているものである。それから、学校業務アシスト事業のほうは、その11日分というか、大体週単位で時間数が決まっているので、1日では表せないで、2週間分、費用の形とさせていただいているところで、期間がまちまちになっているところである。</p> <p>○ 特別支援教育支援員の配置事業の中で、看護支援については、この11日間、看護支援がつかない場合であると、保護者の付き添いを求めなければならないこと</p>

	<p>になるので、この11日間は必ず機能できるようにということで拡充している。特別支援教育支援員は203日ということを経年で元々計画をしていて、特別支援教育支援員については、この203日の中で割り振りをしながら、この11日間についても勤務できるようには学校にはお伝えしている。</p> <p>それと、今回提出しているものが、国の補助がつくものについての予算要求ということで、特別支援教育支援員については、国の補助がすぐできないので、今回は予算割り振りしていない。11月の補正に向けて、今後何人分、何日分の特別支援教育支援員の配置が必要になるかということについては把握していこうと思うが、実は、今配置している特別支援教育支援員のうちの約8割が、日数を増やすことにより扶養の範囲を外れてしまうということがあり、何人勤めていただけるのか、何日勤めていただけるのかについては調査が必要ということで、今後そのことについて調査していくことになる。</p>
石井委員	○ 今回の補正予算のところでは、美術館とか公民館というのは出てこないが、それはもう、補正予算第1号、第2号の中で対策がされているから出てこないという認識でよいのか。
教育企画総務課長	○ 詳細はよく分からないが、今回挙げているのは、国の今回二次補正のメニューに挙がっているものが主体ということであり、今回、公民館関係と美術館関係は二次補正の対象にはなっていないからである。
石井委員	○ 国の補助があるかどうかというのは大事なポイントでもあると思うが、それとは別に、美術館、公民館でも何が最低限必要とされているのかという部分もあると思うので、お金の範囲というのはもちろんあると思うが、そこもある程度お願いしたいと思う。
生涯学習部長	○ 先ほど話があったが、今回の補正については国の臨時の交付金を基にということで、その中で図書館については、本の購入とか、図書消毒機の購入とか、それがメニューとして示されていた。それで対応したということである。 あと公民館と美術館については、コロナ対策を今回行ったが、特別補正予算を組むような対策、そこまで予算的に必要なものはなかったということである。必要であれば、また来年度の予算等で挙げていくということで考えている。
石井委員	○ 冒頭で教育長がフェイスシールドの話がされたのが頭に残っているが、今回の補正のところでは購入はないように思えたが、それは現実的には難しいのか。
教育企画総務課長	○ 学校に配当する予算で購入することは可能である。特別に項目としては挙げてはいない。配当予算の中で購入していただくということである。
教育長	○ 必ずということではなくて、学校で判断すれば買えるということである。
片山委員	○ 9ページの事業内容1の便座クリーナーについてお尋ねしたいが、歳出額3,050万円は結構高額であると思うが、小学校と中学校に配置されると思えばよいのか。
保健体育課長	○ 小学校、中学校及び高校である。
片山委員	○ 便座クリーナーを小学生がどのぐらい使いこなせるのかということと、その使用の必要性などが子どもに理解されて初めて何とか使ってみるのかなど。でも、こぼしてしまったり、上手に拭けていなかったり、実際そのクリーナーとしての機能をちゃんと使いこなせるというと、高学年ぐらいからとったりするが、あえてこの便座クリーナーの設置にこれだけの予算を使われるというふうな決定になった理由を教えてください。
保健体育課長	○ トイレの衛生環境という観点でクリーナーというのが有効であると考えた。学校によっては、すでに使用している学校もあるとは聞いております。ただ、今おっしゃられたように、低学年には非常に難しいというのは考えており、それに対する指導の仕方、そこはまた担当課、各学校で指導ができるようにしてまいりたいと考えている。
河内委員	○ 同じところで、給食調理員のクールジャケットというのか、白い調理のジャケットはよりクールに感じられるような素材のものなのか、どのようなものか教えてください。

令和2年6月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和2年6月23日（火）		
2 開会及び閉会	開会	15時00分	
	閉会	15時24分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	石井希典	
	委員	片山美香	
	委員	河内智美	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	教育次長	岡林敏隆
次長（教育総務部長兼務）	赤野政治	学校教育部長	奥橋健介
生涯学習部長	小坂正樹	指導課長	谷岡哲郎
指導課教育支援担当課長	渡邊裕一	保健体育課長	力竹孝典
生涯学習課長	淵田裕之		
事務局 （教育企画総務課課長補佐）	井本浩行	事務局 （教育企画総務課主事）	友次紗都美
5 議題及び結果			
第14号議案	岡山市社会教育委員の委嘱について		原案可決
第15号議案	岡山市学校給食運営検討委員会委員の委嘱について		原案可決
第16号議案	岡山市特別支援連携協議会委員の委嘱について		原案可決
第17号議案	岡山市問題行動等対策委員会委員の委嘱について		原案可決